

図41 郵送検査の実態

HIV検査体制
研究班

- ・郵送検査受検者数(4社合計) 7700人/年
- ・郵送検査取扱開始時期 2002~2004年
- ・受検費用 3000~5000円
- ・結果受取までの期間

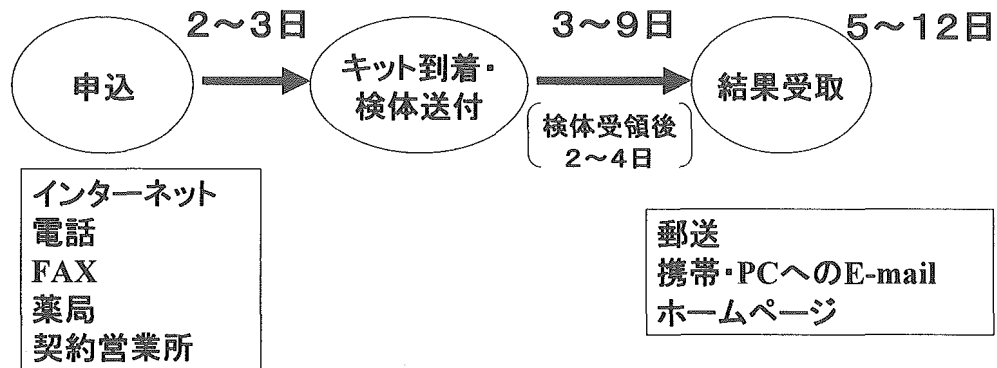


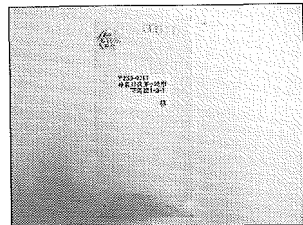
図42 郵送検査4社のキットの紹介

HIV検査体制
研究班

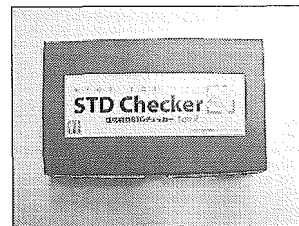
デメカル・ヘルスサポート
(インターネット・薬店で販売)



さくら医科研究所
(インターネットで販売)



アルバコーポレーション
(インターネットで販売)



ひまわりクリニック
(インターネットで販売)

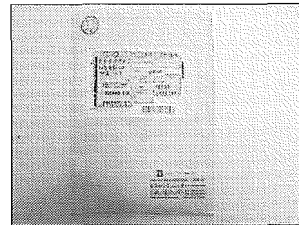


図43 検査検体の採取方法とその輸送方法の実際

HIV検査体制
研究班

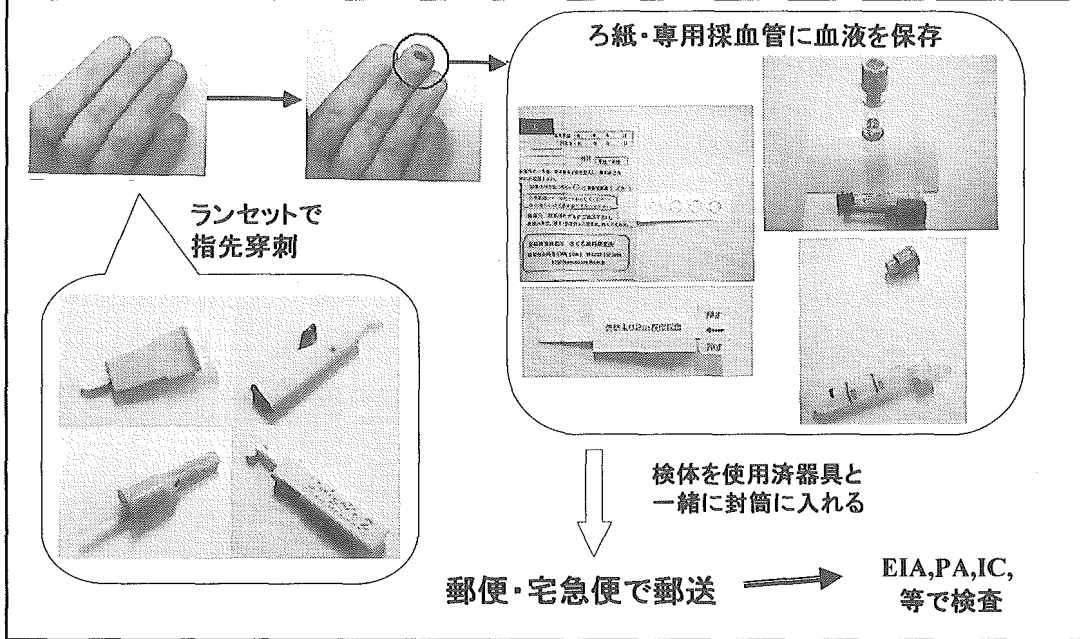
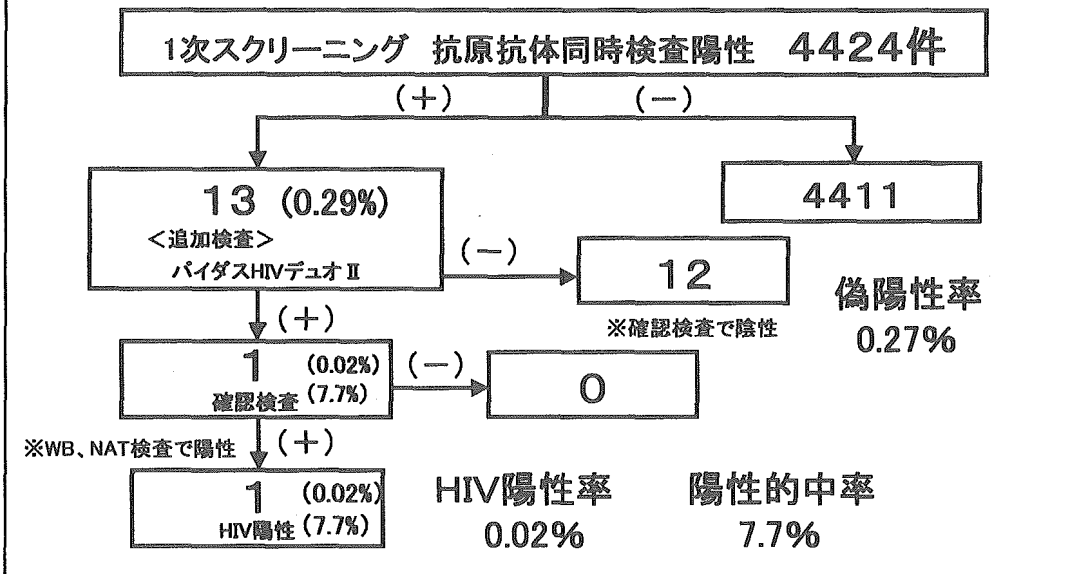


図44 妊婦集団における抗原抗体同時検査偽陽性率の調査

HIV検査体制
研究班

—保健科学研究所、産婦人科病院2施設、HIV母子感染予防研究班との共同研究—
(研究期間：平成16年9月から平成17年8月の1年間)



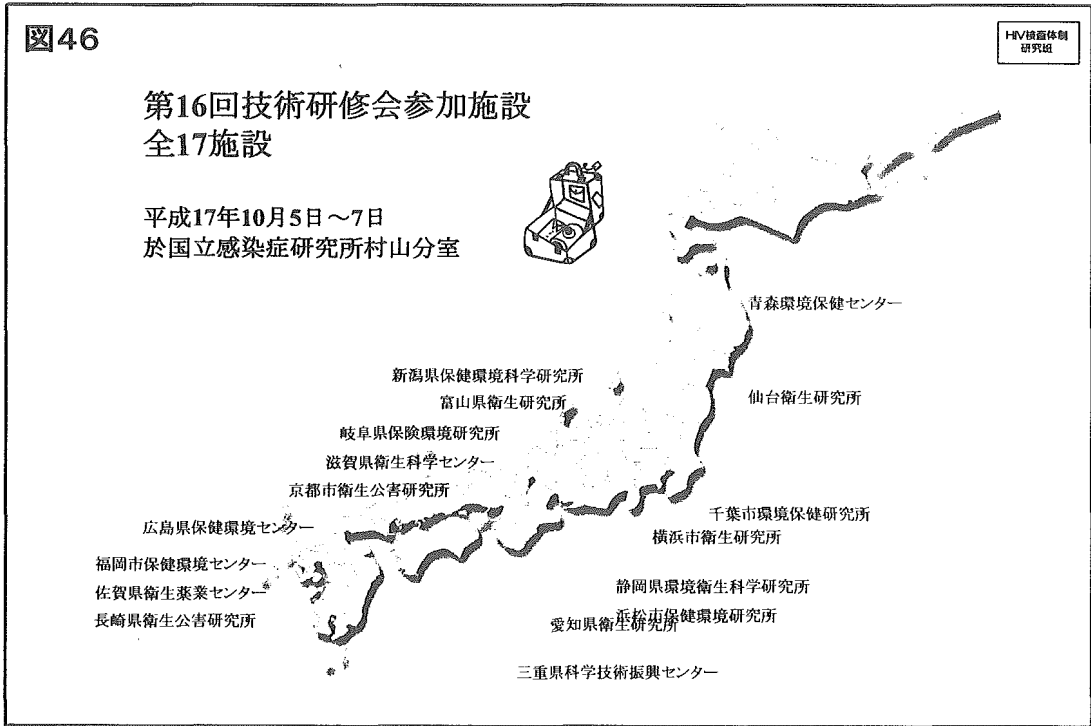
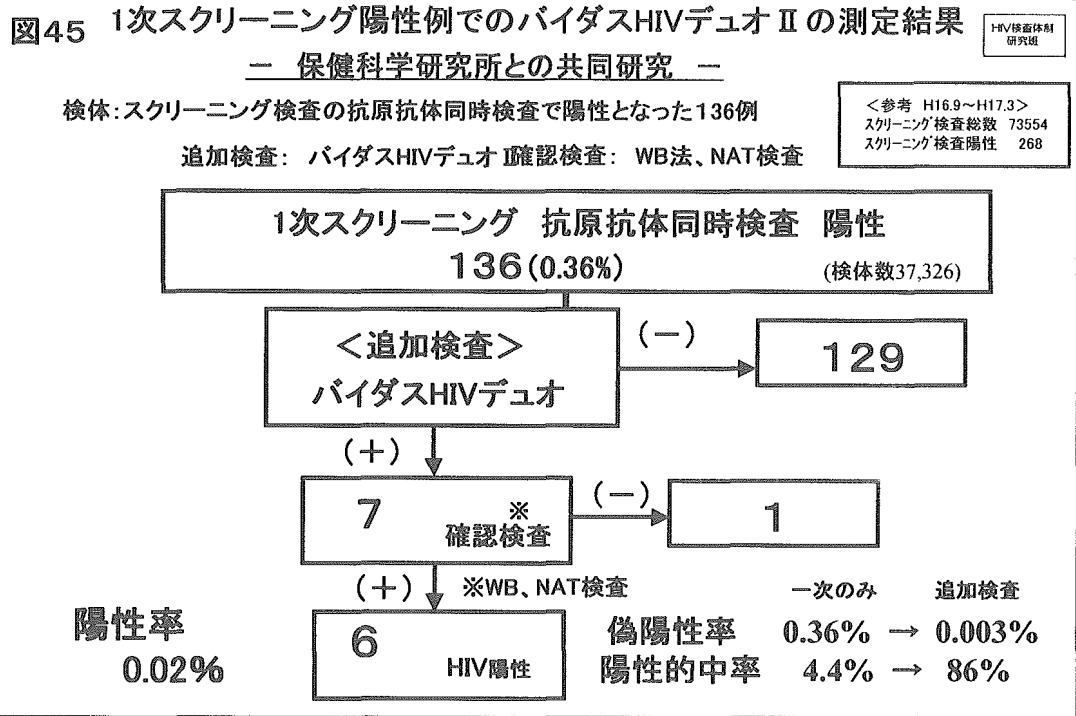


図47

第16回技術研習会プログラム

HIV検査体制
研究班

実習

1. RNA抽出、RT-PCR、nested-PCR
2. PCR産物の確認・精製、シーケンス反応
3. データー回収、薬剤耐性の解析



講義

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 薬剤耐性遺伝子検査 | (国立感染症研究所 西澤雅子) |
| 2. HIV-1の基礎知識 | (国立感染症研究所 松田善衛) |
| 3. 薬剤耐性感受性検査 | (慶応大医学部 加藤真吾) |
| 4. HIV感染症治療と薬剤耐性 | (国立国際医療センター 湯永博之) |
| 5. アフリカにおけるHIV/AIDSの現状 | (国立感染症研究所 石川晃一) |
| 6. 系統樹解析とサブタイピング | (国立感染症研究所 椎野 禎一郎) |
| 7. 遺伝子検査結果の解釈 | (国立感染症研究所 杉浦 互) |
| 8. 即日検査を含むHIV検査に関する情報提供 | (神奈川県衛生研究所 今井光信) |

図48

HIV検査体制
研究班

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
1	北海道立衛生研究所		
2			青森環境保健センター
3		宮城県保健環境センター	
4			仙台市衛生研究所
5		福島県衛生研究所	
6		栃木県保健環境センター	
7	宇都宮市衛生環境試験所	宇都宮市衛生環境試験所	
8	千葉県衛生研究所		
9	千葉市環境保健研究所		千葉市環境保健研究所
10		埼玉県衛生研究所	
11		横浜市衛生研究所	横浜市衛生研究所
12		相模原市衛生試験所	
13	横須賀市衛生試験所		
14	新潟県保健環境科学研究所	新潟県保健環境科学研究所	新潟県保健環境科学研究所
15	新潟市衛生試験所		
16			富山県衛生研究所
17	静岡県環境衛生科学研究所		静岡県環境衛生科学研究所
18			浜松市保健環境研究所
19			愛知県衛生研究所
20	岐阜県保健環境研究所		岐阜県保健環境研究所
21		岐阜市衛生試験所	
22			三重県科学技術振興センター保健環境研究部
23			滋賀県衛生科学センター
24		和歌山市衛生研究所	
25		京都府保健環境研究所	
26			京都市衛生公営研究所
27		尼崎市立衛生研究所	
28	奈良市環境衛生研究所		
29	鳥取県衛生研究所		
30		島根県保健環境科学研究所	
31	広島県保健環境センター		広島県保健環境センター
32		愛媛県衛生環境研究所	
33	北九州市環境科学研究所		
34			福岡市保健環境研究所
35	長崎市保健環境試験所		
36			長崎県衛生公営研究所
37		佐賀県衛生薬業センター	佐賀県衛生薬業センター
38		熊本県保健環境科学研究所	
39	鹿児島県環境保健センター		

図49

表1 HIV薬剤耐性検査数(ジェノタイプ検査)

HIV検査体制
研究班

検査機関	ジェノタイプ検査数(件)							合計
	1999年以前	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	
北海道立衛生研究所	63	16	8	10	3	4	4	108
東京都健康安全研究センター	66	38	0	50	55	51	87	347
茨城県衛生研究所	5	6	4	4	2	2	0	23
埼玉県衛生研究所	2	0	4	2	1	0	0	9
神奈川県衛生研究所	200	13	16	6	19	34	33	321
横浜市衛生研究所*	-	-	-	200	38	30	30	298
愛知県衛生研究所	14	2	6	9	9	19	14	73
大阪府立公衆衛生研究所	417	71	39	52	64	68	114	825
兵庫県立健康環境科学研究所	12	6	2	0	1	3	0	24
広島市衛生研究所	0	0	0	0	0	2	0	2
愛媛県立衛生環境研究所	0	2	1	0	2	0	0	5
福岡県保健環境研	29	2	1	8	1	4	0	45
合計	808	156	81	341	195	217	282	2080

* 横浜市衛研2002年ジェノタイプ検査数は2002年以前のデータを含む。

図50

表2 未治療HIV感染者における薬剤耐性検査数(ジェノタイプ検査)

HIV検査体制
研究班

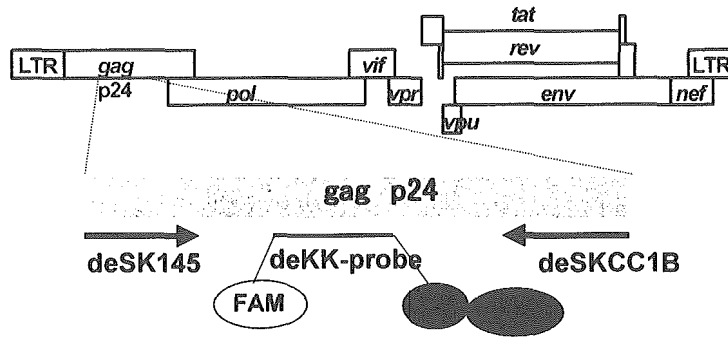
検査機関	ジェノタイプ検査数(人)							合計
	1999年以前	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	
北海道立衛生研究所	2	1	1	3	1	3	2	13
東京都健康安全研究センター	66(3)	38(2)	0	50	55	51(2)	87(2)	347(9)
茨城県衛生研究所	5	6	4	4	2	2	0	23
埼玉県衛生研究所	2	0	4	2	1	0	0	9
神奈川県衛生研究所	0	0	5	6	11	32(2)	32(1)	86(3)
横浜市衛生研究所	12(1)	15(1)	13	13	30(2)	21(1)	20	124(5)
愛知県衛生研究所	14	2	6	9	9(1)	19(1)	14(6)	73(8)
大阪府立公衆衛生研究所	20(1)	13	20(2)	40(6)	52(5)	54(4)	83(6)	282(24)
兵庫県立健康環境科学研究所	12	6	2	0	1	0	0	21
広島市衛生研究所	0	0	0	0	0	2	0	2
愛媛県立衛生環境研究所	0	2	1	0	2	0	0	5
福岡県保健環境研	21(2)	1	1	0	0	3	0	26(2)
合計	154(7)	84(3)	57(2)	127(6)	164(8)	187(10)	238(15)	1011(51)

()内は耐性1次変異を有する症例数

図51

HIV検査体制
研究班

The strategy for Real-time PCR Amplification



NFQ: Non Fluorescent Quencher
MGB: Minor Groove Binder (T_m enhancer)

図52

HIV検査体制
研究班

Real-time PCRと限界希釈法(ポアソン分布法)との相関

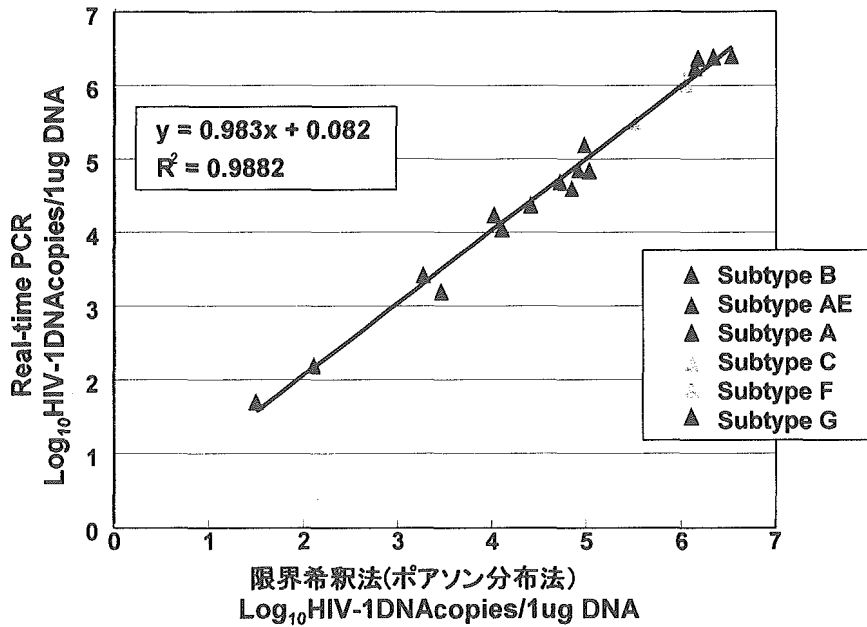


図53

HIV検査体制
研究班

標準法による測定値

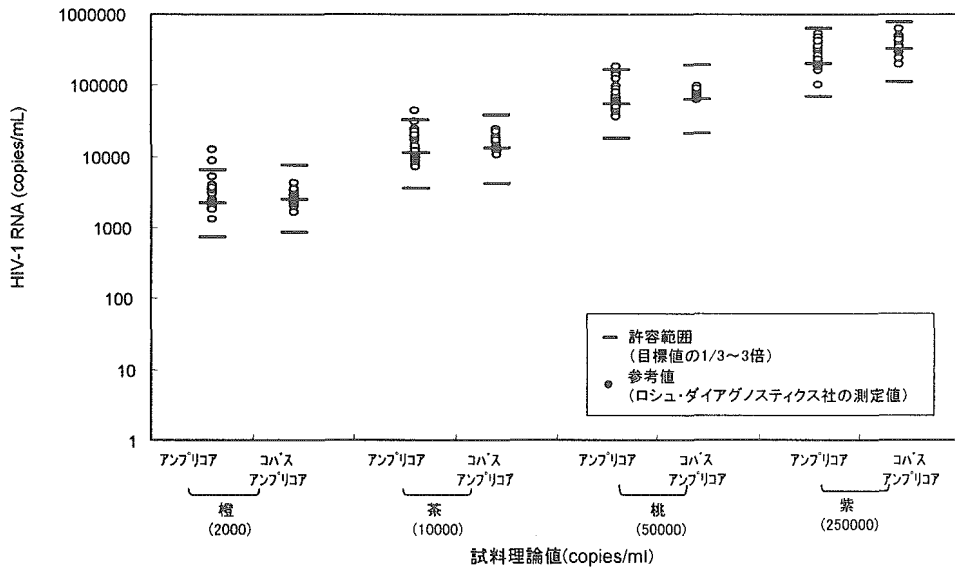


図54

HIV検査体制
研究班

高感度法による測定値

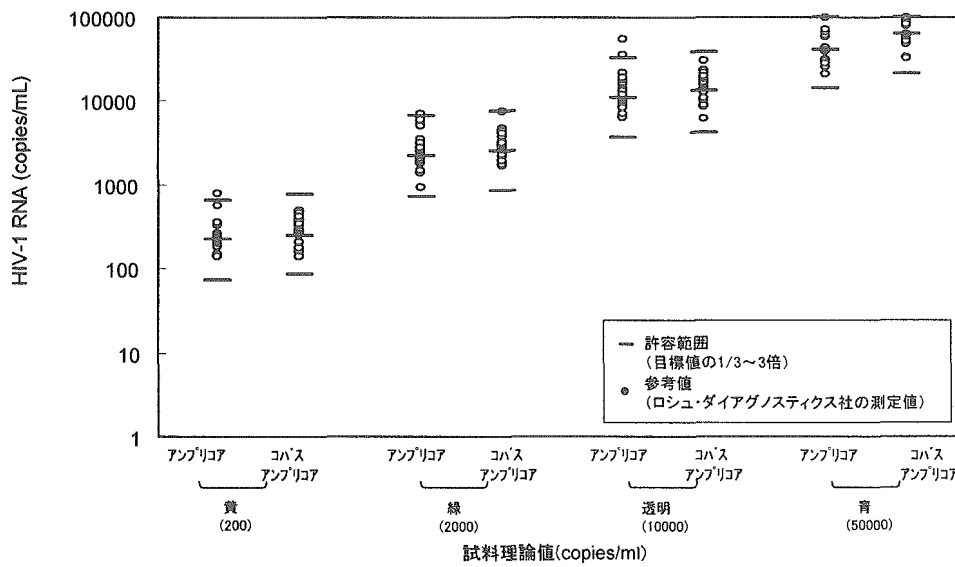


図55

HIV検査体制
研究班

表2 HIV-1プロウイルス定量結果(1)

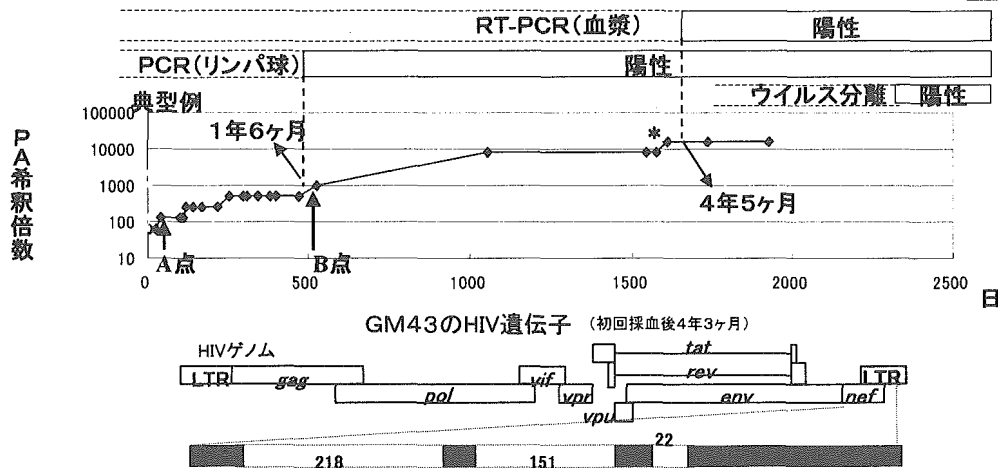
分離培養株 (培養PBMC)	サブタイプ	上清中p24* (pg/ml)	HIV-1プロウイルス		MGB測定値
			TAMRA (コピ-1ugDNA)	MGB	TAMRA測定値
Y197	B	850	86	110	1.28
Y187	B	34,000	2,300	7,900	3.43
GM910-22	B	7,600	710	1,200	1.69
Y160	B	15,000	2,100	2,600	1.23
Y164	B	290,000	520,000	470,000	0.90
Y198	B	320,000	560,000	730,000	1.30
GM1123	A/E	250,000	420,000	490,000	1.17
Y191	A/E	180,000	120,000	110,000	0.92
Y165	A	17,000	270	180	0.67
Y30	C	24,000	130,000	150,000	1.13
GM652-5	F	36,000	260,000	300,000	1.15
Y115	G	44,000	2,300	16,000	6.96

*VIDAS DUO

図56

HIV検査体制
研究班

GM43のHIVマーカーの経過



論文: Identification of Attenuated HIV-1 CRF01_AE Variant Associated with Slow Disease Progression Due to Gross Genetic Alteration in the *nef*-LTR Sequences by M. Kondo, Y. Takebe, M. Imai. The Journal of Infectious Diseases, in press.

特許: 弱毒型HIV-1塩基配列, 特願: 2005-008741、平成17年1月17日出願、国立感染症研究所エイズ研究センター、武部博士との共同出願

Ⅱ. 分担研究報告

A. より効果的な HIV のスクリーニング検査体制を構築するための研究

- A-1 HIV 即日検査の実施とその普及への試み ―ホームページ「HIV 検査・相談マップ」との効果―
3年間(2003-2005 年)における取り組み(総括報告書) (嶋 貴子)
- A-2 栃木県南健康福祉センターにおける即日検査導入の試み (一色ミユキ)
- A-3 北海道における HIV 即日検査実施状況 (本間 寛)
- A-4 江戸川保健所における HIV 即日検査の導入とその現状 (小泉京子)
- A-5 埼玉県における HIV 即日及び休日検査の導入と実施状況 (菊池好則)
- A-6 東京都の HIV 検査体制と検査結果の解析(2003-2005 年) (貞升健志)
- A-7 南新宿検査相談室の HIV 検査と検査結果の解析(2003-2005 年) (山口 剛)
- A-8 大阪府の検査体制と検査結果の解析(2003 年～2005 年) (大竹 徹)
- A-9 北海道における HIV 検査および相談のニーズに関する調査研究 (玉城英彦)
- A-10 地方衛生研究所における HIV 検査について(福岡県) (千々和勝己)
- A-11 地域特性を生かした保健所 HIV 検査体制の構築 (河原和夫)
- A-12 日本赤十字社における HIV 検査体制と HIV 陽性献血者の動向 (金光公浩)
- A-13 保健所等 HIV 検査機関における NAT スクリーニング検査の試験的導入 (嶋 貴子)
- A-14 保健所等における HIV 即日検査の普及に関する研究 (中瀬克己)
- A-15 海外をモデルとした HIV 検査体制の構築 ―イングランドと米国にみる検査体制― (木村和子)

B. HIV 検査陽性者(感染者)のケアのため

より効果的な HIV のフォローアップ検査体制を構築するための研究

- B-1 HIV-1 グループ M のプロウイルス定量法の開発 (近藤真規子)
- B-2 HIV プロゲノムの定量法の確立・普及 (金田次弘)
- B-3 長期 HAART 施行症例における pDNA の推移とその臨床的意義 (吉村和久)
- B-4 新規感染者および非サブタイプ B を対象にした
薬剤耐性試験と感受性試験のデータの構築について (蜂谷敦子)
- B-5 東海地区における HIV 初感染者の薬剤耐性変異(ジェノタイプ)について (榮 賢司)
- B-6 薬剤耐性変異の解析法の開発・改良・技術研修に関する研究:
薬剤耐性検査の実用化と衛生研究所等への技術移管 (杉浦 互)
- B-7 HIV 薬剤耐性検査数および薬剤耐性変異について(アンケートのまとめ) (近藤真規子)
- B-8 HIV-1 RNA 定量キットのコントロールサーベイ(三年間のまとめ) (加藤真吾)

A. より効果的な HIV のスクリーニング検査体制を
構築するための研究

A-1. HIV 即日検査の実施とその普及への試み

－ホームページ「HIV 検査・相談マップ」との効果－

3 年間（2003－2005 年）における取り組み（総括報告書）

嶋 貴子 (神奈川県衛生研究所)	清水茂徳 (ライフ・エイズ・プロジェクト)
潮見重毅 (栃木県県南健康福祉センター)	堀 成美 (東京都立駒込病院)
塚田三夫 (栃木県県南健康福祉センター)	角田英久 (ライフ・エイズ・プロジェクト)
一色ミユキ (栃木県県南健康福祉センター)	渡部享宏 (Campus AIDS Interface)
上山 洋 (江戸川保健所)	工藤伸一 (北海道立衛生研究所)
渡部裕之 (江戸川保健所)	大竹 徹 (大阪府立公衆衛生研究所)
安成律子 (江戸川保健所)	澤畑一樹 (三菱化学ビーシーエル)
西大條文一 (北新宿同仁斎メディカル CL)	小林米幸 (小林国際クリニック)
赤枝恒雄 (赤枝六本木診療所)	尾上泰彦 (宮本町中央診療所)
大國 剛 (大國診療所)	大里和久 (大里クリニック)
尾関全彦 (尾関皮膚泌尿器科)	岩澤晶彦 (岩澤クリニック)
保科眞二 (保科医院)	上村茂仁 (ウィメンズクリニック・かみむら)
吉尾 弘 (吉尾産婦人科医院)	上村 哲 (上村病院)
江畑貴文 (文化村通りクリニック)	多和田俊保 (たわだ泌尿器科)
立山啓悦 (ひろクリニック)	山中 晃 (新宿東口クリニック)
山口眞澄 (新宿山の手クリニック)	大原宏樹 (池袋山の手クリニック)
近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)	今井光信 (神奈川県衛生研究所)

研究要旨

日本におけるエイズ発生動向調査の HIV/AIDS 報告数、血液センターおよび保健所等検査機関での HIV 検査陽性数はいずれも増加傾向を示しており、特に保健所等検査機関で判明する HIV 検査陽性数の増加率は高くなっている。また、保健所等検査機関での陽性例の多くは、夜間・土日検査のような利便性の高い検査機関に集中している。保健所等検査機関での HIV スクリーニング検査体制をさらに効果的なものにするために、民間クリニックおよび保健所において「HIV 即日検査」の試験的導入を行い、即日検査の有用性や実施上の問題点等を検討するとともに、保健所等検査機関への行政事業としての即日検査導入の普及・支援を行ってきた。

民間クリニックへの即日検査の導入は2001年9月から行った。これまで18ヶ所において実施し、検査総数36839件、陽性数160件（陽性率0.4%）となった。検査実施クリニックの増設に伴い、年々、検査数・陽性数ともに増加し、検査機関の増設は受検者数の増加に繋がることが分かった。また、クリニックの受検者に対するアンケート調査の結果では、受検者の約9割はホームページ「HIV検査・相談マップ」を見て受検しており、即日検査の実施と共に、継続的な検査情報の提供の必要性が確認された。

保健所でのモデル研究は栃木県県南健康福祉センターにおいて実施され、即日検査導入年（2003年）のHIV検査数は455件と2002年に比べ3.5倍、導入2年目（2004年）では814件と6.3倍に増加し、即日検査の反響の大きさが示された。考慮すべき点として、現状の

迅速診断キットの偽陽性率が約1%と他のスクリーニング検査キット比べて高く、検査希望者の受け入れから検査通知までの時間が短いことから、検査前に即日検査についての十分な説明を行うことやスクリーニング検査陽性者に対する精神的フォロー体制を整備する必要があることが分かった。また、性感染症検査を同時に実施する場合、即日に検査結果を返却できない項目において、受検率、結果返却率が低下することが示唆されたことから、性感染症検査についての説明を受検者に対して十分に行うこと、即日検査の導入を予定している機関は、即日検査と性感染症検査の実施体制を考慮した上で即日検査導入を考える必要があることが分かった。

即日検査の試験的導入による研究成果に基づき、「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン（第1版：平成16年3月、第2版：平成17年3月）」が作成され、厚生労働省より自治体、保健所、衛生研究所およびエイズブロック拠点病院の1155箇所に配布された。その結果、保健所等検査機関での即日検査の実施は、2003年は試験的実施の1保健所であったが、2004年は15自治体51保健所等検査機関、2005年では44自治体144保健所等検査機関にまで増加した（2005年度：全国保健所549箇所）。また、保健所での検査数は、即日検査導入前の2002年と比較し、2005年では1.5倍の増加となり、また陽性数は、2005年は2004年より微減したが、高い水準で推移しており、2002年と比較し2005年では1.4倍の増加となった。特に江戸川保健所では、即日検査導入により受検者数が前年度比の10倍となり、即日検査実施への反響の大きさが示された。

即日検査機関の増設は検査希望者の増加につながるものと考えられ、さらに実施機関の導入支援を進めていくと共に、今後は、課題として残されている即日検査陽性者への対応やHIV陽性者の医療への繋げ方、リスク低減に向けた予防へのアプローチ手段の開発等についても早急に検討していく必要があると考える。

A. 目的

HIV 検査希望者にとって利便性が高く、より効果的なスクリーニング検査体制を構築することを目的として、民間クリニックおよび保健所等検査機関へ「HIV 即日検査」の試験的導入および行政的導入への普及・支援を行った。また、より多くの検査希望者に即日検査に関する情報を伝えられるよう、ホームページ「HIV 検査・相談マップ」上に情報の掲載を行い、その効果が反映されると思われる HIV 検査数等の年次動向を調査することによって、即日検査体制の有用性について検討を行った。

B. 方法

1. HIV 即日検査の実施状況

①民間クリニックへの即日検査の試験的導入

2001年5月からHIV検査に理解のある都市部の民間クリニックと連携して、即日検査の試験的導入を行った。2005年末までに全国18

ヶ所の民間クリニックで実施した（図1）。

クリニックの検査数・陽性数の動向を調査するとともに、数箇所のクリニックでHIV検査に関するアンケート調査を実施した。

②保健所への即日検査の試験的導入

保健所でのモデル研究として、2003年1月から栃木県県南健康福祉センターで即日検査を試験的に導入し、事業運営や検査実施体制の状況、また受検者数・陽性数の動向を調査し、保健所への行政的導入の可能性について検討を行った。

③保健所等検査機関への即日検査の導入支援

栃木県県南健康福祉センターにおける即日検査の試験的導入や行政事業として始められた江戸川保健所での実施状況、実績等の紹介を行うと共に、即日検査実施機関で得られた知見を基に作成した「保健所等における HIV 即日検査のガイドライン（第一版：平成16年3月、第二版：平成17年3月）」を配布し、保健所等検査機関の即日検査導入への普及、支援

を行った。栃木県南健康福祉センターと江戸川保健所については、実施状況を引き続き調査した。また、全国の即日検査実施機関をアンケートおよびインターネット等で調査し実施機関を把握すると共に、全国15自治体の研究協力機関からの検査数、陽性数を集計し、年次動向を調査した。

2. ホームページ「HIV 検査・相談マップ」での HIV 検査情報の提供

即日検査実施機関の情報をホームページ「HIV 検査・相談マップ」上に掲載し、協力検査機関でのアンケート調査から、当ホームページを見て来所した受検者の割合を調査するとともに、トップページや検査機関詳細情報ページのアクセス数を調査した。

C. 結果

1. HIV 即日検査の実施状況

①民間クリニックでの即日検査実施状況

2001年5月からHIV検査に理解のある都市部の民間クリニックと連携して、即日検査の試験的導入を行った。2005年末までに全国18ヶ所の民間クリニックで実施し(図1)、検査総数は36839件、陽性数160件、陽性率0.4%となった。検査実施クリニックの増設に伴い、年々、検査数・陽性数ともに増加しており、検査機関の増設は受検者数の増加につながることが分かった。2005年の検査数合計は12872検体、陽性数は54検体(陽性率0.4%)であり、エイズ動向委員会報告での2005年の保健所等検査機関の検査数が約10万件、陽性数が331件であったことから、民間クリニック18カ所での検査数は、全国検査数の約8分の1、陽性数の約6分の1に達することが分かった(図2)。

2005年の検査数・陽性数を、「STDクリニック」および女性の感染不安者やCSWの定期検診が中心の「婦人科クリニック」で分けてみると、STDクリニックでは、検査数10969件のうち、陽性数が52件、陽性率は0.5%であ

り、男女別にみると、男性では検査数が8741件、陽性数が51件、陽性率が0.6%、女性では、検査数が2225件、陽性数が1件、陽性率が0.04%で、受検者の8割が男性で、陽性者もほとんどが男性であった。婦人科クリニックでは、検査数が1903件で、うち陽性が2件、陽性率は0.1%であり、男女別では、男性では、検査数159件中、陽性数が1件、陽性率は0.6%、女性では、検査数1744件中、陽性数が1件、陽性率が0.06%であった。この女性の2名についてはCSWではないとのことであった(図3)。婦人科クリニックではこれまでも陽性例は見られていないが、これらクリニックではCSWの定期受検例も多く、定点機関として今後も継続して動向を注視して行く必要があると思われる。また、2005年に5カ所のクリニックが新規に即日検査を開始した東京地区の実施状況を見ると、2004年は3カ所で検査数が4563件、陽性数が23件であったのが、2005年では8カ所で7562件、陽性数が40件となり、検査数、陽性数共に1.7倍の増加となった(図4)。このように検査機関を増設することにより、検査数や陽性数も増加する可能性があることが示唆された。

STDクリニック2カ所で実施したHIV検査に関するアンケート調査結果を示した。「保健所でHIV検査が無料で行われているのを知っていますか？」の問いに対しては、知っていると答えた人がそれぞれ、96%、89%と、ほとんどの受検者が知っている上でクリニックに検査を受けに来ていた(図5)。「HIV感染があったと思われる時期は？」については、1カ所では3ヶ月以内が24%、もう1カ所では、47%にのぼっており、感染機会からかなり早い時期に受検している人が多いことが分かった(図6)。このことから、かなりの人が早い時期から感染不安を抱いており、また実際に3ヶ月以内に受検している人も多いことが示唆されたことから、これまでの「感染機会から3ヶ月経ってから」の検査受け入れについ

て、より早い時期の検査受け入れを進めていく必要があると思われた。また、「この診療所が即日検査を実施していることをどこで知りましたか？」については、「HIV検査・相談マップ」から得た人が約8割を占めており、ホームページによる情報提供が有効に機能していることが分かったとともに、継続的な情報提供の必要性が確認された(図7)。

民間クリニックはHIV検査数、陽性数の動向把握のための定点機関として大きな役割を果たすと思われ、今後もクリニックとの連携を強化していきたいと考えている。また、即日検査機関数が増加すれば、検査数、陽性数も増加することが示唆されたことから、今後さらに、クリニックにおける即日検査の導入を積極的に進めて行くとともに、そのためのクリニック向け即日検査ガイドライン等の整備も行っていきたいと考えている。

②保健所での即日検査の試験的導入

保健所での即日検査モデル研究は、2003年1月から栃木県県南健康福祉センターで実施を行った。即日検査を開始するにあたり、ホームページ「HIV検査・相談マップ」上に情報を掲載した。また新聞各紙(下野新聞、読売新聞栃木版)において報道された(図8)。

即日検査導入前の過去2年間(2001年、2002年)と導入後(2003年)の検査数を比較したところ、2001年、2002年はそれぞれ171検体、130検体であったのに対し、2003年は455検体となり、検査数は約3.5倍に増加し、即日検査の反響の大きさが示された。考慮すべき点としては、現状の迅速診断キットの偽陽性率は約1%と他のスクリーニング検査キット比べて高く、検査希望者の受け入れから検査通知までの時間が短いことから、検査前に即日検査の特性についての十分な説明を行うこと、スクリーニング検査陽性者への精神的フォロー体制を整備すること、また、性感染症検査を同時に実施する場合、即日に検査結果を返却できない項目において受検率、結果返

却率が低下することが示唆されたことから、性感染症検査についての説明を受検者に対して十分に行うこと、また、即日検査の導入を予定している機関は、即日検査と性感染症検査の実施体制を考慮した上で即日検査導入を考える必要があることが分かった。

(詳しくは、分担研究報告書“栃木県県南健康福祉センターにおける即日検査導入の試み”一色ら 参照)。

③保健所等検査機関での即日検査実施状況

栃木県県南健康福祉センターにおける即日検査の試験的導入の成果を基に「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン(第一版:平成16年3月、第二版:平成17年3月)」を作成し、厚生労働省より自治体、保健所、衛生研究所およびエイズブロック拠点病院の1155箇所へガイドラインが配布された(図9)。その結果、即日検査を実施している保健所等検査機関数は2003年では試験的実施の1保健所であったが、2004年は15自治体51保健所等検査機関、2005年では44自治体144保健所等検査機関にまで増加している(2005年度:全国549保健所)(図10)。また、15自治体の研究協力機関の集計数によると、保健所での検査数は即日検査導入前の2002年と比較し、2005年では1.5倍の増加(図11)、また、陽性数に関しては、2005年は2004年より微減したが、高い水準で推移しており、2002年と比較し2005年では1.4倍の増加となっている(図12)。全国で最初に即日検査を導入した栃木県県南健康福祉センターにおいては、HIV検査受検者数が即日検査導入前(2002年)は130件であったのに対し、即日検査導入後(2003年)には455件(3.5倍)に、さらに導入後2年目(2004年)には814件(6.3倍)に増加し、導入後3年目(2005年)は767件(5.9倍)となった(図13)。栃木県では2005年4月から県南保健所に加え、栃木県域の全ての保健所(全5箇所)に即日検査を導入したことにより、県南保健所の検査数は他保健

所へ分散されると考えられていたが、それほど減少がみられず、他の保健所の検査数も検査日の違いや予約の有無等の条件が各保健所で異なるが、1.1～2.0倍の増加となっていた（図14）（詳しくは、分担研究報告書“栃木県県南健康福祉センターにおける即日検査導入の試み”一色ら 参照）。

また、江戸川区の保健所では即日検査導入前（2003年）が152件であったのに対し、導入後（2004年）は1595件（約10倍増）に増加し、導入後2年目（2005年）は1392件（約9倍増）となり、周辺の自治体で即日検査が始まったのにも関わらず、検査数の減少はあまり見られなかった（図15）（詳しくは、分担研究報告書“江戸川保健所におけるHIV即日検査の導入とその現状”小泉ら 参照）。このことから、即日検査の実施機関が増加しても、従来から実施していた即日検査機関での受検者数の減少は見られず、新たな検査希望者の掘り起こしがされたと考えられ、即日検査機関の増加は検査希望者の増加につながるものと考えられる。今後、さらに実施機関の導入支援を進めていくとともに、即日検査実施のための研修体制についても検討していきたい。

2. ホームページ「HIV検査・相談マップ」でのHIV検査情報の提供

HIV検査に関する情報をより詳しく、より多くの人に提供することを目的としたホームページ「HIV検査・相談マップ」（<http://www.hivkensa.com>）を開設し、PC版サイトおよび携帯版サイトにおいて、即日検査実施機関等のHIV検査情報の提供を行っている。PC版トップページのアクセス数解析では、2005年12月の1日平均アクセス数は約2000件であり、開設から4年間で総アクセス数が200万件に達した。また2005年1年間の合計アクセス数は約76万件となった（図16）。また携帯版サイトも2005年12月の1日平均アクセス数は約1000件とPC版の

2分の1に当たるアクセスがあり、また、開設から4年間で総アクセス数30万件となっており（図17）、当ホームページがHIV検査情報を提供する媒体として非常に有効に活用されていることが分かった。

PC版トップページにある5つのカテゴリ検索（保健所無料検査、夜間・土日検査、即日検査、NAT検査、性感染症検査）のアクセス数では、「即日検査」、「夜間・土日検査」にアクセスが多く、また検査機関の詳細ページアクセス数を調べたところ、「都心」、「即日検査」、「夜間・土日検査」のいずれかの条件に当てはまっている機関にアクセス数が多いことが分かった（図18）。受検者にとって利便性の高い検査機関に関心の高いことが分かり、これらのような検査機関の設置が望まれていることが伺えた。

また、このホームページをより多くの方に知ってもらうために、講演会やイベント等で配布してもらえようようなHP紹介カードを作成した。4種類のカード（ウインドウ期解説、性感染症啓発、コンドーム啓発、女の子向け）を、これまで延べ200団体（学校、NGO、保健所等）、各カード約40000枚配布してきた（図19）。2005年度は即日検査紹介カードの作成を行った（図20）。

ホームページは継続して情報を提供する手段として非常に有効であり、HIV相談検査事業の活性化については、ホームページ「HIV検査・相談マップ」を用いての効果的な情報周知が有効であることが示唆された。今後もHIV検査について網羅した、より実用性の高いホームページとなるよう、力を入れて行きたい。

D. まとめ

HIV即日検査は全国的に実施検査機関が増加しており、検査希望者にとってより利便性の高いHIV検査機会の提供に大きく寄与しつつある。しかし、新たに即日検査を開始する

保健所が増加するとともに、より良い即日検査を提供していくためのバックアップ体制の整備は重要な課題である。保健所等無料検査機関における HIV 検査事業が効果的に実施され、またその一つの体制である即日検査が有効に機能するよう、今後も HIV 検査状況等の動向調査を継続し、即日検査導入の効果・問題点等を解析し、検査機関を支援していきたい。

また、HIV 検査機関として有用な基幹となりうる民間クリニックにおいても、即日検査の導入を積極的に進めて行くとともに、そのためのクリニック向け即日検査ガイドライン等の整備も行っていきたいと考えている。

これまで、より利便性高い HIV 検査を目指して、HIV 即日検査の導入を進めてきた結果、受検者数の増加という目標は達成されつつある。しかし、即日検査陽性者への対応や HIV 陽性者の医療への繋げ方、リスク低減に向けた予防のアプローチ手段の開発等、課題も多く残されている。今後は HIV 検査相談機会の質的充実について、資材の開発や研修体制等、整備を強化していく必要があると考える。

論文発表

1. 嶋 貴子、一色ミユキ、近藤真規子、塚田三夫、潮見重毅、今井光信：保健所における HIV 即日検査導入の試みとその効果。日本公衆衛生雑誌。53 (3), 167-177, 2006
2. 嶋 貴子、今井光信：HIV 検査の現場から－HIV 検査啓発への試み－。看護実践の科学 28 : 52-53, 2003.

学会発表

1. 嶋 貴子、今井光信：スクリーニング検査とその陽性時の検査の進め方。第 54 回日本医学検査学会 ビオメリューランチョンセミナー。2005 年 5 月 13-14 日（京都）
2. 嶋 貴子、近藤真規子、今井光信：即日

検査のガイドラインの作成について。衛生微生物技術協議会第 26 回研究会。2005 年 7 月 7-8 日（福井）

3. 嶋 貴子、近藤真規子、須藤弘二、関田和代、永田明義、吉尾 弘、相楽裕子、今井光信：新しい抗原抗体同時検出キットの検討および HIV スクリーニング追加検査への応用。第 19 回日本エイズ学会学術集会・総会。2005 年 12 月 1-3 日（熊本）
4. 嶋 貴子、西大條文一、潮見重毅、中瀬克己、今井光信。HIV 即日検査の試験的实施とその普及への試み。第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会。2004 年 12 月 9-11 日（静岡）
5. 嶋 貴子、近藤真規子、一色ミユキ、塚田三夫、潮見重毅、今井光信：HIV 検査の普及のための試み－保健所検査への即日検査の導入－。第 17 回日本エイズ学会学術集会・総会。2003 年 11 月 27-29 日（神戸）
6. 嶋 貴子、近藤真規子、今井光信：HIV のスクリーニング検査。全国衛生微生物技術協議会 第 24 回研究会。2003 年 7 月 10-11 日（福岡）

マスコミ等での紹介

<平成 17 年度>

(新聞)

- * 神奈川新聞（平成 17 年 4 月 27 日）
市 HIV 即日検査へ
（横浜市即日検査実施紹介）
- * 読売新聞（平成 17 年 5 月 3 日）
エイズ即日検査（即日検査実施機関紹介）
- * 読売新聞（平成 17 年 5 月 25 日）
HIV とともに [7]
（「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）
- * 毎日新聞（平成 17 年 6 月 29 日）
いいんですか HIV 感染検査目的の献血
（HIV 検査啓発）

- * 読売新聞（平成 17 年 7 月 9 日）
医療ルネサンス 増える性感染症 [5]
（「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）
 - * 神奈川新聞（平成 17 年 7 月 21 日）
県も HIV 即日検査へ
（神奈川県即日検査実施紹介）
 - * 神奈川新聞（平成 18 年 1 月 15 日）
HIV 即日検査序所に浸透（即日検査紹介）
（雑誌）
 - * 月刊 SAY（2005 年 9 月号）
（「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）
 - * B A d i（2005 年 12 月号）
（「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）
 - * モモコ（2005 年 11 月号）
（風俗系求人誌：「HIV 検査・相談マップ」
アドレス紹介）
- <平成 16 年度>
- （新聞）
- * 共同通信（平成 16 年 5 月 27 日）
HIV 感染すぐ判明 即日検査、保健所に普
及へ（即日検査ガイドライン紹介）
 - * 読売新聞（平成 16 年 6 月 21 日）
広まるエイズの即日検査
（即日検査ガイドライン、「HIV 検査・相談
マップ」アドレス紹介）
 - * 日本経済新聞（平成 16 年 8 月 3 日）
HIV 即日検査広がる
—通知まで 40 分、受検者が急増—
（栃木県県南健康福祉センターの即日検査、
「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）
 - * 毎日新聞（平成 16 年 10 月 7 日）
HIV 即日検査 自治体の 1 割導入
（即日検査ガイドライン紹介）
 - * 読売新聞（平成 16 年 10 月 18 日）
HIV 1 時間で判定 受検者 10 倍増も
（江戸川保健所の即日検査、即日検査ガイ
ドラインの紹介）
 - * 公明新聞（平成 16 年 11 月 9 日）
広がる エイズ感染
（HIV 即日検査、即日検査ガイドラインの
紹介）
- （雑誌）
- * Confronting HIV 2004 (no. 25 2004 年 5 月)
（SUBNOTE）HIV 迅速検査
 - * 週刊文春（2004 年 9 月号）
うつさないで治療を！30 分で「HIV 検査」
できる全国の施設
（HIV 即日検査、「HIV 検査・相談マップ」
アドレス紹介）
 - * B A d i（2004 年 11 月号）
（「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）
 - * Just Health（2004 年 12 月号）
もしかして A I D S ! ? の正しい対処法
（記事監修、HIV 即日検査、「HIV 検査・相
談マップ」アドレス紹介）
 - * 日経ビジネス Associe（2004 年 12 月号）
その場で判明する HIV 検査
（インタビュー記事、HIV 即日検査、「HIV
検査・相談マップ」アドレス紹介）
 - * 健康教育（2004 年 12 月号）
エイズ/HIV 感染のひろがりと予防教育
（「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）
 - * 厚生労働（2005 年 1 月号）
我が国のエイズ対策と今後の課題
<寄稿> HIV 迅速検査（を用いた即日検査）
の現状と今後の展望について
- <平成 15 年度>
- （新聞）
- * 下野新聞（平成 15 年 1 月 23 日）
（栃木県県南健康福祉センター即日検査実
施について）
 - * 読売新聞（栃木版）（平成 15 年 1 月 29 日）
（栃木県県南健康福祉センター即日検査実
施について）
 - * 朝日新聞（全国版）（平成 15 年 12 月 13 日）
医療 忍び寄る HIV（上）
（即日検査、「HIV 検査・相談マップ」アド
レス紹介）
 - * 下野新聞（平成 16 年 2 月 3 日）
（栃木県県南健康福祉センター即日検査実

施について)

(雑誌)

* B A d i (2003年11月号)

(「HIV検査・相談マップ」アドレス紹介)

* Y A H O O ! J A P A N (2003年12月号)

(「HIV検査・相談マップ」アドレス紹介)

* オレンジページ 元気がでるからだの本
(2004年春号)

(「HIV検査・相談マップ」アドレス紹介)

(パンフレット)

* 共に未来を生きるために 2004

(「HIV検査・相談マップ」アドレス紹介)

(書物)

* 話してみようよ! エッチ・愛・カラダ

剣 陽子 著

(「HIV検査・相談マップ」アドレス紹介)

(※マスコミ等での紹介は研究班で把握しているもののみ記載してあります。)

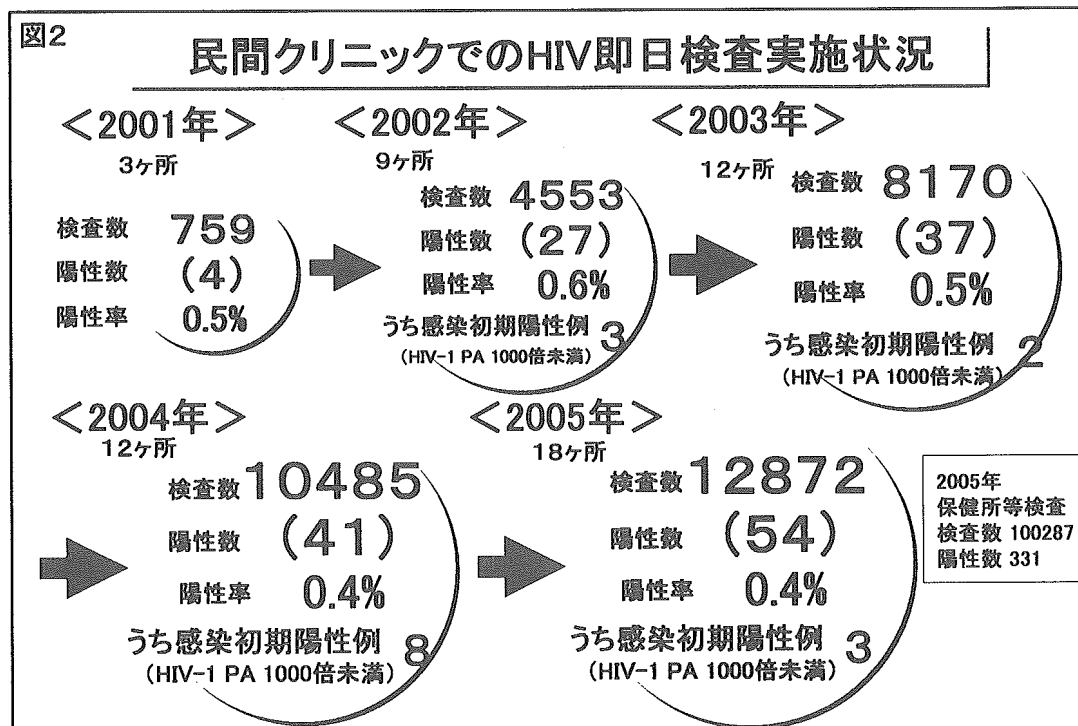
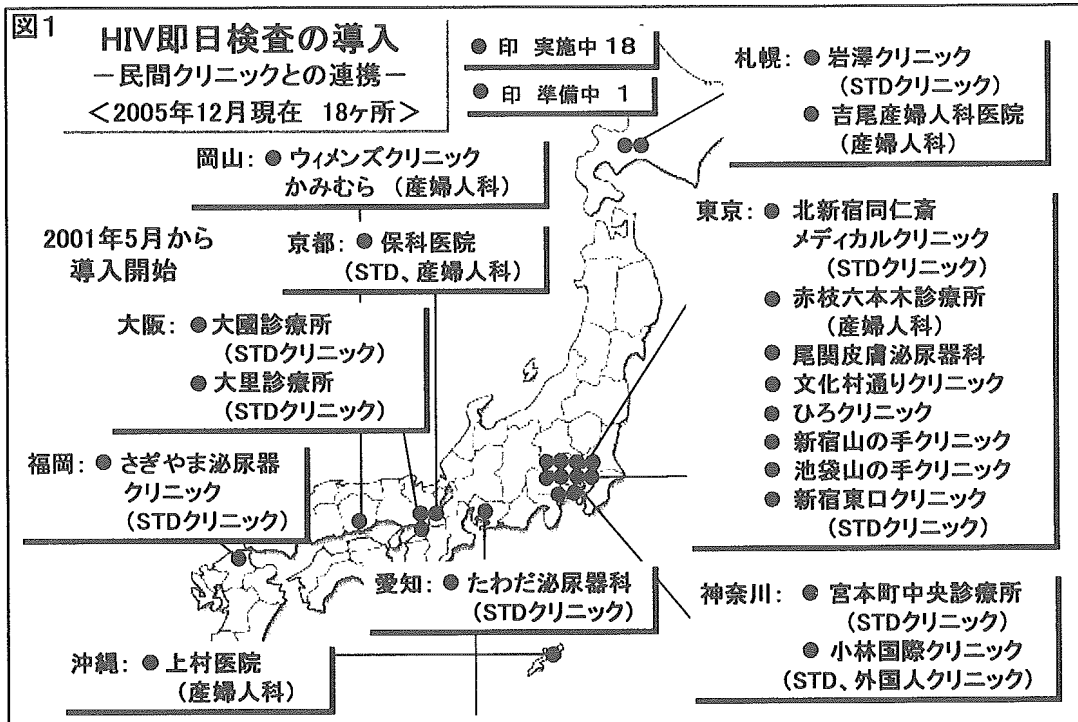


図3

民間クリニックでのHIV即日検査実施状況

2005年 18カ所のクリニックで実施

<2005年>

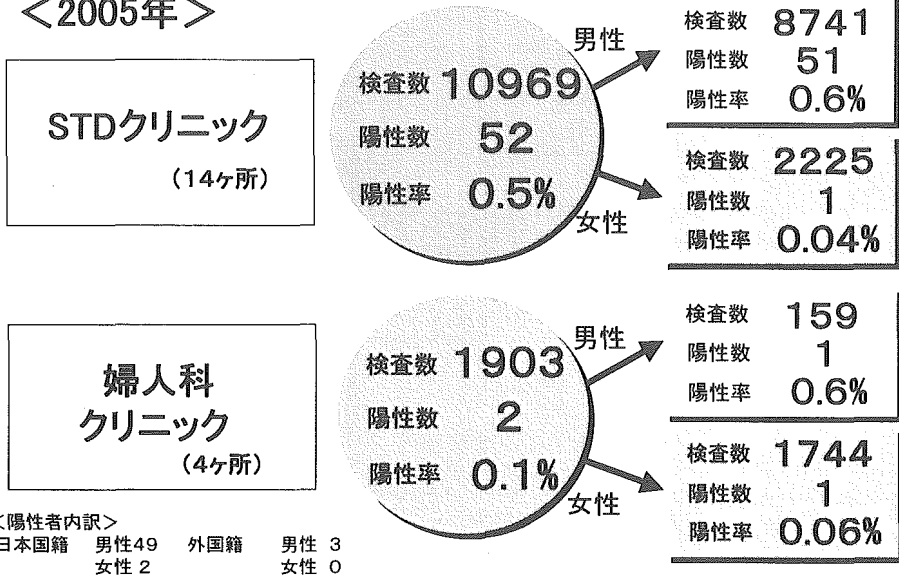


図4

民間クリニックでのHIV即日検査実施状況(東京)

<2004年 3ヶ所>

<2005年 8ヶ所>

